

イネカメムシ

令和7(2025)年7月14日
塩谷南那須農業振興事務所

に注意！

- ・今年、塩谷南那須地域で初めて「イネカメムシ」が確認されました。(確認場所: 那須烏山市南大和久)
- ・ほ場をよく観察し、イネカメムシを発見した場合は
①出穂期と②乳熟期に必ず薬剤防除を実施してください。



写真 栃木県内で発生する主要な斑点米カメムシ類 (農業総合研究センター提供)

<イネカメムシ被害の特徴>

イネカメムシが出穂期に稲を加害すると**不稔米**の発生が増加します。
また、乳熟期に加害すると**基部斑点米**で**品質が低下**します。

出穂期

(全茎の40～50%が出穂した時期)

**不稔で
収量低下**



乳熟期

(出穂期の7～10日後)

**基部斑点米で
品質低下**



イネカメムシによる不稔の防止には、出穂期防除が必須です！！

イネカメムシは出穂期頃の水稻を加害し、不稔による大幅な減収を引き起こします。
従来の乳熟期の防除に加えて、出穂期の防除に努めましょう！



防除対策や発生予測は栃木県
◀「カメムシ防除作戦」HPでご確認を

県農業防災LINE (公式アカウント)
カメムシ情報も随時発信中！▶

